- 1. 件名:川内原子力発電所運転期間延長認可申請(1、2号炉の運転の期間の延長)及び保 安規定変更認可申請(1、2号炉の高経年化技術評価等)に関する現地確認につい て
- 2. 日時:令和5年6月26日(月) 14時00分~17時45分 令和5年6月27日(火) 8時30分~17時45分 令和5年6月28日(水) 8時30分~17時00分
- 3. 場所:九州電力株式会社 川内原子力発電所
- 4. 出席者:

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ

実用炉審査部門

戸ヶ崎安全規制調整官、塚部上席安全審査官、雨夜上席安全審査官、

日髙安全審査専門職、藤川安全審査官、黒住審査チーム員、鈴木技術参与

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋上席技術研究調査官、田口主任技術研究調査官、皆川副主任技術研究調査官、 渡辺技術研究調査官、水田技術研究調査官

九州電力株式会社

常務執行役員 原子力発電本部 副本部長 他計40名

5. 要旨

- (1) 劣化状況評価の実施状況に係る記録等の確認について
 - 〇劣化状況評価の実施状況について、関係する者に規定、実施要領書、点検記録等の確認を 実施した。
- (2) 劣化状況評価の実施状況に係る現場確認について
 - 〇劣化状況評価の実施状況として「共通・その他の経年劣化事象(1班)」、「コンクリート・ 鉄骨構造物(2班)」、「電気・計装設備(3班)」、「耐震・耐津波安全性(4班)」の事項に ついて、別添のとおり現場で確認を行った。
 - ・別添 川内原子力発電所 1、2号炉 現場確認のおける主な確認内容(令和5年6月26日~28日)

川内原子力発電所1、2号炉 現場確認における主な確認内容(令和5年6月26日~28日)

川内原丁刀先电応	<u> 近1、2号炉 現場確認における</u>	<u> 土は唯心内谷(下和5年6月2</u>	<u>00~280)</u>
1 班	2 班	3 班	4 班
① 原子炉補助建屋(管理区域内)	① 原子炉補助建屋(管理区域	① 原子炉補助建屋(管理区域	① 原子炉補助建屋(管理区域
余熱除去冷却器出口配管及びバ	内)	内)	内)
イパスライン	・中性化、アルカリ骨材反応	・電気ペネトレーション	• 余熱除去系統配管
・苛性ソーダのタンク及び系統配	の評価点	・ほう酸ポンプ用電動機	・後打ちアンカー(計装用電
管	・塩分浸透、アルカリ骨材反	直流電源盤(第3系統)	源装置)
	応のコア採取位置		
② 格納容器内		② 格納容器内	② 格納容器内
・原子炉容器スタッドボルト	② 格納容器内	・低圧ケーブル	・アニュラス
・蒸気発生器	・熱、放射線照射、アルカリ		・加圧器スプレイ配管
・一次冷却材管及び一次冷却材ポ	骨材反応、遮蔽能力低下の評	③ 原子炉補助建屋(管理区域	• 主蒸気系統配管
ンプ	価点	外)	• 主給水系統配管
・加圧器スプレイライン配管管台	・中性化深さ、塩分浸透のコ	・メタクラ、パワーセンタ	・格納容器スプレイ系統配管
・蓄圧タンク出口第2逆止弁弁箱	ア採取位置	• 蓄電池設備	・安全注入系統配管
・アニュラスシール	・鉄骨の強度低下対象部位		
		④ 屋外	③ 原子炉補助建屋(管理区域
③ 原子炉補助建屋(管理区域外)	③ 原子炉補助建屋(管理区域	・海水ポンプ用電動機	外)
・非常用ディーゼル発電設備	外)	・高圧ケーブル	・後打ちアンカー(重大事故
• 炭素鋼配管(屋外)	・機械振動の評価点	• 大容量空冷式発電機	等対処用制御盤)
・中央制御室空調系ダクト			・ドレン系統配管、タービン
	④ タービン建屋		グランド蒸気系統配管
④ 特重施設	・機械振動、アルカリ骨材反		• 主蒸気系統配管
	応の評価点		・蒸気発生器ブローダウン系
	・中性化深さのコア採取位置		統配管
	・鉄骨の強度低下対象部位		
			④ 屋外
	⑤ 取水構造物(気中帯)		• 津波防護対策設備
	・中性化、塩分浸透、アルカ		
	リ骨材反応の評価点		⑤ 特重施設
	⑥ その他(コア倉庫)		

	・特別点検で実施したコンク	
	リート強度に関する採取コア	
	の観察	